

報道関係者 各位

同志社大学×ENEOS Xplora (株)
CO₂からの固体炭素製造の実用化を目指した
共同研究契約の調印式を開催します



2025年度、同志社大学とENEOS Xplora株式会社が新たな共同研究を開始します。

この共同研究では地球温暖化の原因物質である二酸化炭素(CO₂)を原料とした固体炭素を製造することを目指しています。固体炭素はカーボンブラック等として世界的に需要が増加している機能材ですが、現在は、石油・石炭といった化石燃料由来の製品であり、製造工程でCO₂の排出を伴います。この共同研究はCO₂を100%原料とする固体炭素の製造技術の確立を目指すもので、実用化すれば化石燃料を置き換えるだけでなく、「作れば作るほどCO₂が減る」ことにつながる社会的意義の高い研究です。本学においては、電気化学の若手研究者であるハリス理化学研究所の鈴木祐太助教が共同研究に取り組みます。

下記の通り、共同研究のパートナーであるENEOS Xplora株式会社と調印式および研究概要説明を行います。取材をご希望の方は、3月11日(火)15時までに別紙取材連絡票を同志社大学広報課へご連絡ください。Zoomでのご参加を希望の場合は、申込み後にZoomミーティングのURL等をお送りします。

記

日時：2025年3月12日(水) 13:30~14:30

場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館1階 RY107 (Zoomでもご参加いただけます)

出席者：友枝 城太郎 ENEOS Xplora株式会社 常務執行役員 CTO
曹 奎煥 ENEOS Xplora株式会社 e-テクノロジー・イノベーションセンター 技術創造2Gグループマネージャー
後藤 琢也 同志社大学 副学長/研究開発推進機構長/理工学部・教授
鈴木 祐太 同志社大学 ハリス理化学研究所・助教

ハリス理化学研究所 鈴木 祐太 助教

2021年3月に同志社大学大学院 理工学研究科博士後期課程を修了。同年4月より同志社大学 研究開発推進機構の特任助教を務め、2023年4月から現職。電気エネルギーを活用した化学反応を応用し、CO₂を燃料や化成品の原料へと変換する物質変換技術の研究に取り組む。また、宇宙探査や有人月面活動に必要な資源の現地調達を目指す「その場資源利用(ISRU: In Situ Resource Utilization)」技術の研究にも従事。月面鉱物を活用し、太陽光パネルに利用可能なシリコンを生成する技術開発等を進めている。

以上

取材に関するお問い合わせ

同志社大学広報部広報課 TEL: 075-251-3120 FAX: 075-251-3080

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 e-mail: ji-koho@mail.doshisha.ac.jp

○本リリースは、同志社大学から京大記者クラブ加盟の各社、放送記者会、関西プレスクラブ、学研都市記者クラブにお送りしています

今出川